



## ～＊口内炎の話＊～

口の中に口内炎ができて痛くて食事ができなかった方も多いのではないのでしょうか。一般的には丸く白いアフタ性口内炎が有名で、触ると痛いので食事がとれず栄養不足になり、口内炎を悪化させてしまう事があります。では、なぜ口内炎ができるのでしょうか。



### 口内炎の原因と治療法



#### ①アフタ性口内炎

疲れやストレスによって抵抗力低下やビタミンB2の不足が原因といわれていますが、はっきりした原因は不明です。口内炎ができてから1週間～2週間で自然に治りますが、痛みが強い時にはステロイド剤入りの軟膏などを使用すると治りやすくなります。

#### ②カタル性口内炎

歯のかぶせ物が合っていないかったり、矯正装置が粘膜を刺激することで粘膜が部分的に赤く腫れるのが特長です。合っていないかぶせ物は、治療しなすかマウスピースで粘膜を保護しますが、矯正装置はステロイド剤入り軟膏などで対応することが多いようです。



マウスピース



矯正装置



#### ③潰瘍性口内炎

虫歯で歯が欠けたまま放置していたり入れ歯が合わないまま使用していると、慢性的に粘膜が刺激され一般的な口内炎より深く、痛みの強い潰瘍性口内炎になってしまいます。刺激の原因を治療すれば治りますが、治りが悪い時は抗生物質を使用する事もあります。

#### ④カンジタ性口内炎

義歯性口内炎ともいわれています。歯肉や粘膜が入れ歯の形に赤くなったり、舌に白い膜が点在します。カンジタ菌はカビの一種で、口の中を不潔にしていると発生します。毎食後 入れ歯を外して流水下でブラシでこすって洗う、口の中も歯がなくても舌を磨く、うがいをするなど清潔に保てばカンジタ菌を減らすことができます。



#### <クリニックからのお知らせ>

口の中に違和感を感じたら、お気軽にお問い合わせ & 歯科検診の相談をしてください。